

# のびゆく 中和っ子

かしこく なかよく 元気よく  
～学び合い、高め合い、ふるさとと共に歩む中和っ子～  
旭市立中和小学校 令和5年2月15日 NO. 20 (学校評価)



職員による学校運営評価（自己評価）、児童と保護者の方に12月にご協力いただいたアンケートの結果をまとめ、学校運営を振り返りました。（下の表参照）皆様からは貴重なご意見、厳しいご指摘、励ましや嬉しいコメントをいただきました。結果を真摯に受け止め、今後の学校経営に生かして参りたいと思います。

## 【資料の数値の見方】

資料1、資料2に示す数字は、各項目を「あてはまる(4点)」「どちらかといえばあてはまる(3点)」「どちらかといえばあてはまらない(2点)」「あてはまらない(1点)」の4段階を数値化して処理しました。そのため、4点が満点となります。回答は 教職員13名、児童97名、保護者のべ83名によるものです。

資料1		【中和小学校児童 学校・家庭についてのアンケート】				
観点	No.	アンケート項目	全校	低学年	中学年	高学年
かしこく	1	授業はわかりやすいですか。	3.3	3.7	3.6	2.8
	2	家庭学習（宿題）をしていますか。	3.7	3.9	3.7	3.6
	3	（新）タブレットを使った学習は楽しいですか。	3.3	3.9	3.2	3.0
なかよく	4	学校は楽しいですか。	3.6	4.0	3.8	3.1
	5	友達と仲良く過ごせますか。	3.7	3.8	3.8	3.5
	6	（新）友達や先生方などに挨拶できますか。	3.5	3.8	3.4	3.4
元気よく	7	外で元気に遊んだり、運動したりしていますか。	3.2	3.9	3.0	2.9
	8	早寝・早起きしていますか。	3.1	3.2	2.9	3.1
	9	家族とよく話をしていますか。	3.8	3.9	3.6	3.8

## 【資料1より】

- 学校全体でみると、すべての項目で3.1を超えていることや「かしこく」「なかよく」「元気よく」の学校教育目標のバランスも良いことから、概ね望ましい学校生活が送れていることがわかります。特に、今年力を入れた「家庭学習」と「家族と話をする」は、学校を支えてくださる家庭の協力が大きいことがわかります。本当にありがとうございます。「外遊び・運動」「早寝・早起き」の取組は今後学校全体で意識していく項目と捉えます。
- 低中高学年別にみると、やはり、低学年の評価は高い傾向が見られます。また、3.0を下回る項目「授業のわかりやすさ」「外遊びや運動」「早寝・早起き」の課題は、学年差が大きいようです。この部分は、学校全体で学級を支えていく必要を強く感じます。
- 「タブレット学習」では中学年以上に苦手意識を持つ児童が見られ始めました。できるだけ授業中に使用することで使用機会を増やし、児童がその扱いに慣れることを目指しています。「外遊び・運動」では学年が上がるにつれて肯定的な意見が減少しています。3学期は、全校で「長縄練習」に取組み、意図的に屋外で運動に取組む機会を増やしています。

## 資料2 【教職員による学校運営評価（自己評価）】

No.	評価内容	質問文	教職員 自己評価	保護者 アンケート
1	楽しい学校づくり	児童一人ひとりが存在感を感じられる学級経営をしている。	3.2	3.5
2	道徳心の涵養	道徳や日常の指導を通して思いやりの心や決まりを守る心を育てている。	3.3	3.5
3	わかる授業づくり	資料や補助教材、タブレット等のICT機器などを活用してわかりやすい授業を行っている。	3.0	3.3
4	学習指導	基礎・基本の定着を図るため、教材の精選・工夫を行っている。	3.4	3.2
5	体力づくり	体育や業間活動を通して運動量を確保し、発達段階や個人差に応じた体力の向上を図っている。	3.1	3.4
6	学習規律	学習時の姿勢や下敷き・線引きの使用、チャイム着席等の学習ルールを意識した指導をしている。	3.8	3.4
7	学校教育目標の具現化	「かしこく・なかよく・元気よく」の目標を意識して指導し、児童にも伝えている。	3.3	3.5
8	個に応じた指導	個々の学力や特性に応じた学習・生活支援を行っている。	3.6	3.3
9	安全・安心な学校	確実な安全点検を行うとともに、教材・教具の不備や蛍光灯の不点灯などの施設の不備がないよう、学習環境に気を配っている。	3.4	3.5
10	学校行事	行事の目的を児童と共有し、児童の自主性を生かしながら取り組んでいる。	3.2	/
11	教育指導の説明	学年便りや連絡文書等の作成時は、読み手を意識してわかりやすいように作成し、配布前に見直している。	3.4	3.5
12	開かれた学校づくり	保護者や地域住民が参加しやすいよう、学校行事を計画したり行事に協力したりしている。	3.2	3.7
13	豊かな人間関係づくり	学級会や行事などで、計画的に子ども相互の関係性を良くしたり、お互いを助け合ったりする場を設けている。	3.2	3.4

### 【資料2より】

- 回答数が大きく異なるために単純に数値比較はできませんが、多くの項目で3.0以上の近接した数字が並んでいます。学校教育へのご理解とご協力を心より感謝申し上げます。
- 保護者に比べて教職員が高く評価した主な項目は「学習規律」「個に応じた指導」です。今年「輝け中和っ子～学習編～」を作成し、授業に関わる約束事、発表の仕方などの共通理解を図り、職員が同じ目線で児童を指導できるようにしました。また、特別支援コーディネーターによる困り感のある児童への対応や教諭補助員による個別の対応、SC（スクールカウンセラー）による保護者相談や児童の教育相談の機会を設けてきました。こういった点が高い自己評価へとつながったように思います。
- 教職員に比べて保護者が高い評価をしてくださった主な項目は「楽しい学校づくり」「体力づくり」「開かれた学校づくり」です。共通して言えることは、新型コロナの心配はありつつも、教育活動の平常化を目指して取り組んできたことが評価されたように思えます。
- 今後教職員が努力すべきことは「わかる授業づくり」「学習指導」です。それは、一言でいうと教師が「授業力の向上」に努めるということだと受け止めています。教師自身が自らの力量を高めるために「学び続ける教師」として研修と修養に努めていくこと、組織として研修の充実を図っていくことが大切だと考えています。

◎学校評価を生かし、本年度のまとめと次年度の教育計画をしっかりと行っていきます。